

お知らせ

INFORMATION

No.2014-21

2014年6月

病体生理研究所

「微生物検査」の薬剤感受性結果のご報告について

拝啓 時下ますますご精栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、一般細菌「薬剤感受性検査」におきまして、最小発育阻止濃度（MIC：Minimum Inhibitory Concentration）による報告サービスを6月23日受付分より開始させていただきます。

一部、検出菌と薬剤の組み合わせにおいて、CLSI※にてS. I. R判定基準のない薬剤や、当研究所が採用していますMICパネル内の薬剤設定濃度から感受性のご報告を行うことが出来ない薬剤がございます。

下記の内容にて対応させていただきます。

何卒、ご了承頂けます様お願い申し上げます。

敬具

記

【特定菌検出時の報告薬剤の変更について】

検出菌とMICパネル薬剤設定濃度の組み合わせにより、報告を行うことが出来ない薬剤のため、S. I. R判定基準のある代用薬剤を用いてご報告致します。

菌名	分類	薬剤名	代用報告薬剤
<i>Proteus</i> sp <i>Providencia</i> sp <i>Morganella</i> sp	グラム陰性桿菌 (腸内細菌)	IPM(イミペネム)	MEPM(メロペネム)

【特定菌と薬剤・採取材料の組み合わせ等により感受性結果のご報告が出来ない薬剤】

① 検出菌とMICパネル薬剤設定濃度の組み合わせにより、報告を行うことが出来ない薬剤となっております。

菌名	分類	薬剤名	備考
<i>Enterococcus faecium</i>	腸球菌	IPM(イミペネム)	代用薬剤はございません。
<i>Acinetobacter</i> sp	ブドウ糖 非発酵菌	PIPC/TAZ(ピペラシリン/タゾバクタム) IPM(イミペネム)	

② その他、採取材料と検出菌の組み合わせで判定基準のない場合や、MICパネルの薬剤設定濃度から、S. I. R判定のご報告が出来ない薬剤がございます。この場合はMIC値のみのご報告とさせていただきます。

以上

※ CLSI (Clinical and Laboratory Standards Institute : 米国臨床検査標準協会)